

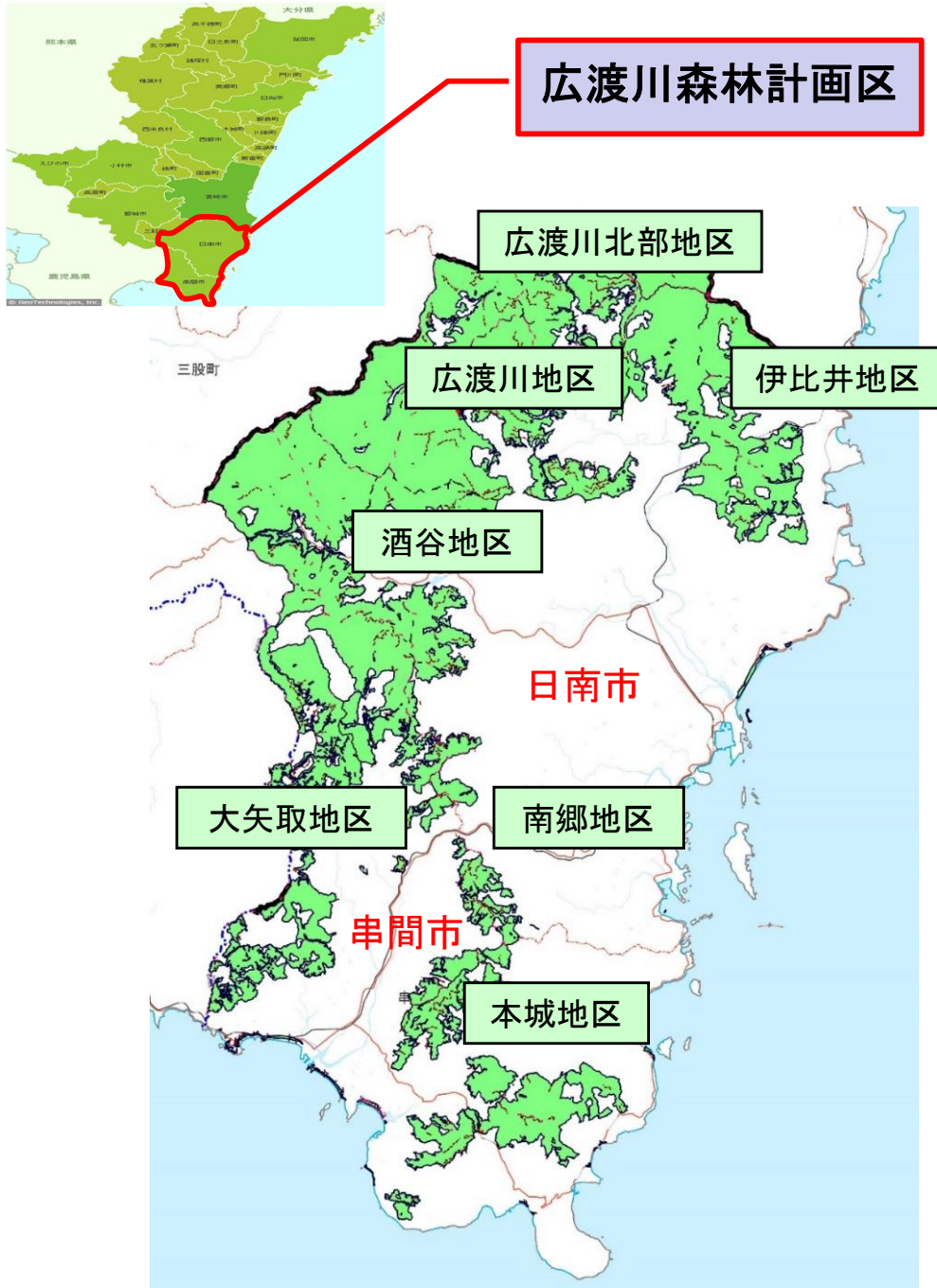
次期森林計画についての森林管理署の検討方向

— 目 次 —

- 1 現行計画の概要
 - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
 - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 - (3) 林産物の供給に関する事項
 - (4) 国有林野の活用に関する事項
 - (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項
- 2 次期計画の検討方向

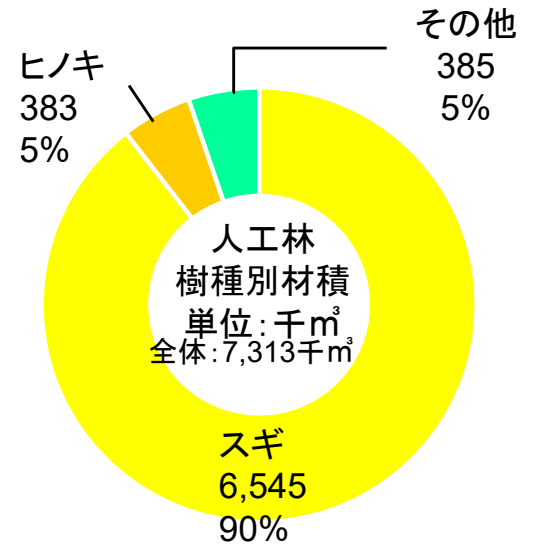
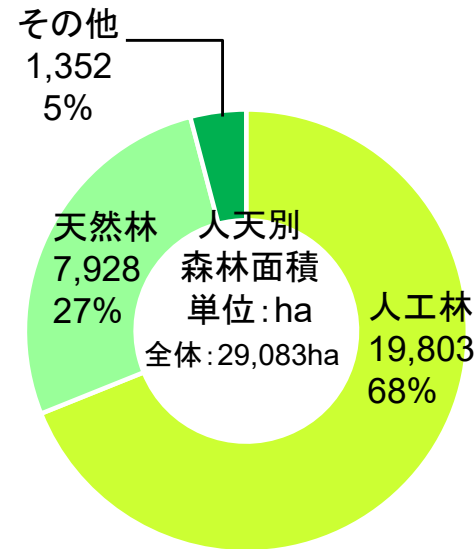
宮崎南部森林管理署

1 現行計画の概要(令和2年4月1日～令和7年3月31日)



①管内国有林の現況

広渡川森林計画は、宮崎県の南部に位置し、日南市及び串間市の2市からなり、区域面積は約83千ha、県総面積の10.7%を占めています。流域の森林総面積は約66千ha、国有林面積は約29千haとなっており、計画区内の44%に当たり、人工林が68%、天然林が27%を占めています。



1 現行計画の概要(令和2年4月1日～令和7年3月31日)

広渡川森林計画区の特徴

- ・国有林は、広渡川、酒谷川、福島川などの中・上流域に位置し、国土の保全、水源かん養などの面で期待が高い森林となっています。
- ・温暖多雨かつ土壌条件に恵まれているため、スギの生育に適し、藩政時代から分収造林制度の制定とともにスギの造林が盛んに行われ、飢肥林業地帯が形成され、従来から、宮崎県の木材生産基地として重要な役割を担ってきました。
- ・優れた森林景観を持つ渓谷等を中心として、森林レクリエーションや保養休養の場として多くの人々に利用されています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に当たっては、森林の持つ公益的機能の維持増進として、以下の機能類型の発揮を目的とした管理経営を行っています。

機能類型区分 (本計画区での面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (5,479 ha)	山地災害の防止・土壌保全機能などの発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (527 ha)	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持・動植物の保護・遺伝資源の保存など、自然環境の保全に係る機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林 希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (130 ha)	保健、レクリエーション、教育文化などの機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (0 ha)	快適環境形成機能の発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化等、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (22,946 ha)	国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能の発揮を重視	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組んでいます。

市林務担当職員を対象とした現地見学会



特定母樹等の中苗植栽による造林コスト試験地

民有林と協調した効率的な森林整備を推進



日南市と串間市の林務担当職員を対象とした森林整備箇所等の現地見学会(造林コスト試験地、下刈・立木販売・保育間伐(活用型)箇所等)を行い、民国連携した技術普及に取り組んでいます。

民有林と国有林が隣接する日南市富土地域の森林に「森林共同施業団地」を設定し、関係者が連携して路網整備や森林整備を行い、スケールメリットを生かした作業の低コスト化や安定供給体制の強化に取り組んでいます。

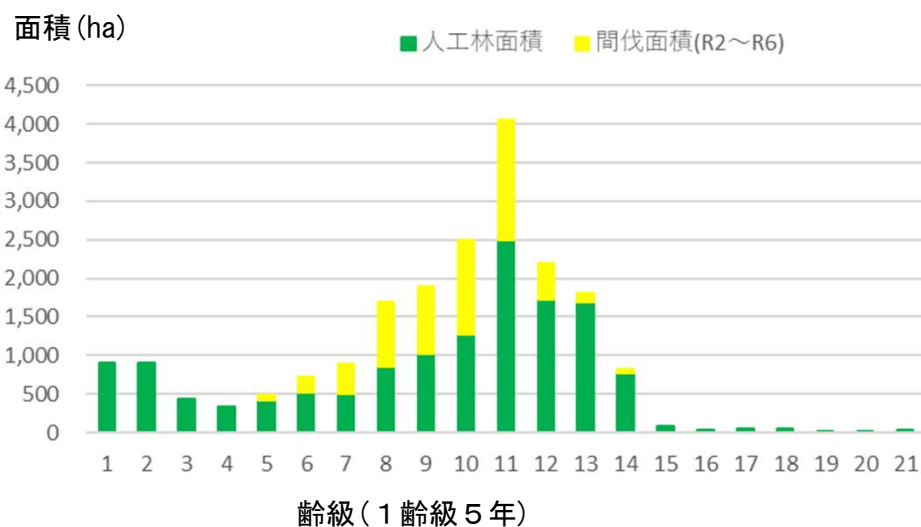
(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

適切な間伐を行い、森林による二酸化炭素の吸収量の確保を図るとともに、間伐材による木材利用の拡大で炭素の貯蔵及び二酸化炭素の排出削減に向けた取組を推進しています。

・本計画区的人工林の面積は約 19,803haで、16年生から60年生の人工林の面積は約14,696ha（人工林面積の約74%）です。

・現行計画（R2年度～R6年度）では間伐を約5,761ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

④ 多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進しています。



長伐期化された森林



針広混交林

林地生産力が低く、急傾斜で、車道から遠いなど社会的条件も悪い人工林は、針広混交の育成複層林に誘導。

現行計画(R2年度～R6年度)における事業量(予定)

間伐	624,911 (m ³)	5,761 (ha)
----	---------------------------	------------



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

⑤ 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。

護岸や防風工(パネル型)の設置



海岸等における潮害等を防備する防災林造成事業を実施しています。護岸の設置や植栽木を保護する防風工(パネル型)を設置し、パネルにはスギ大径材を使用することで環境への配慮や県産材の利用を推進します。

治山施設の設置



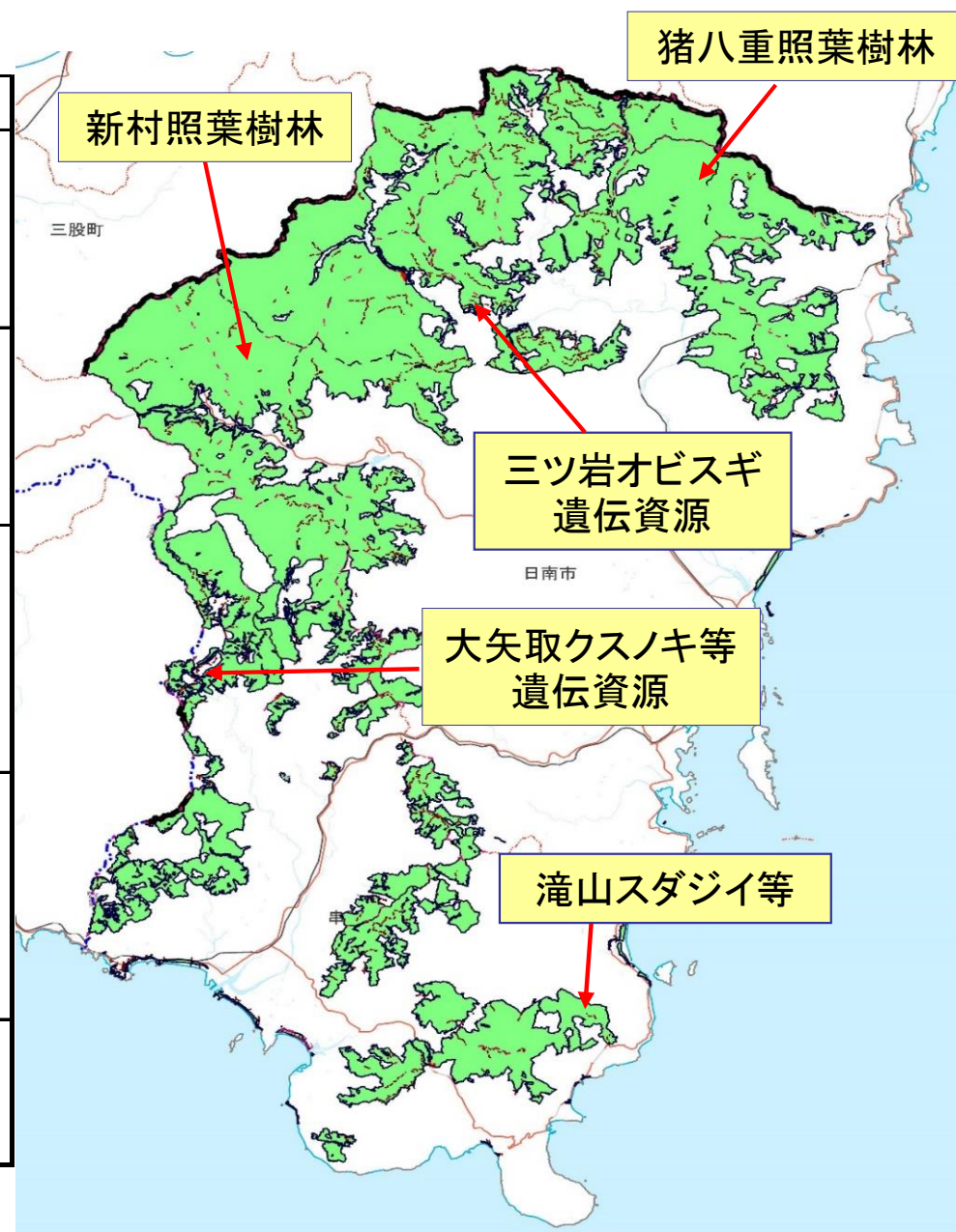
水源のかん養、土砂の流出・崩壊の防備などの目的を達成するため、荒廃山地や荒廃溪流など、森林の造成や整備、森林が育つ基盤となる林地を保全するための施設の整備を行っています。

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴等	面積(ha)
生物群集保護林	猪八重照葉樹林	イチイガシの巨木が優占する生物多様性の高い照葉樹林です。溪流沿いは日本でも有数なコケの宝庫となっています。	480.79
	新村照葉樹林	イスノキ、ウラジロガシ、イチイガシで構成される常緑広葉樹がまとまりをもって広がっている極めて稀な照葉樹林です。	487.40
希少個体群保護林	三ツ岩オビスギ遺伝資源	飢肥杉の穂木の間隔を広くとって直挿し造林した146年生のスギ林であり、飢肥林業で一番古い造林地です。平成27年に九州で初めて「林業遺産」に選定されました。	5.07
	大矢取クスノキ等遺伝資源	江戸時代初期に植栽されたクスノキは、樹齢397年生と言われています。林内には、イチイガシ、タブノキ、シイ類も混入し多様な植生を有しています。	5.26
	滝山スタジイ等	アラカシ、シイ類、その他広葉樹等からなる樹齢160年生の天然林で、植物学上貴重な森林です。	4.71





猪八重照葉樹林
生物群集保護林



新村照葉樹林
生物群集保護林



大矢取クスノキ等遺伝資源
希少個体群保護林



三ツ岩オビスギ遺伝資源希少個体群保護林



滝山スダジイ等
希少個体群保護林

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

② 野生獣害被害対策

シカの生息が確認されていなかった広渡川流域においても目撃情報が相次いでおり、地域と連携したシカ被害対策を推進するため、関係自治体等とのシカ被害対策協定の締結や南那珂地区シカ侵入対策連絡会議に参画し、関係者による情報共有や合意形成等の連携を図っています。



宮崎県南那珂農林振興局、日南市、串間市、日南市有害鳥獣対策協議会、串間市有害鳥獣対策協議会等が参加し、「くくり罠(小林式誘引捕獲法)現地勉強会」を実施。

(3) 林産物の供給に関する事項

①高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握し、国有林材の安定的な供給を推進しています。

林道の新設



適切な森林施業や地球温暖化防止対策の推進を図るため、林道や作業道の効率的かつ効果的な整備に努めています。

路網の整備



林業生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

木材の供給



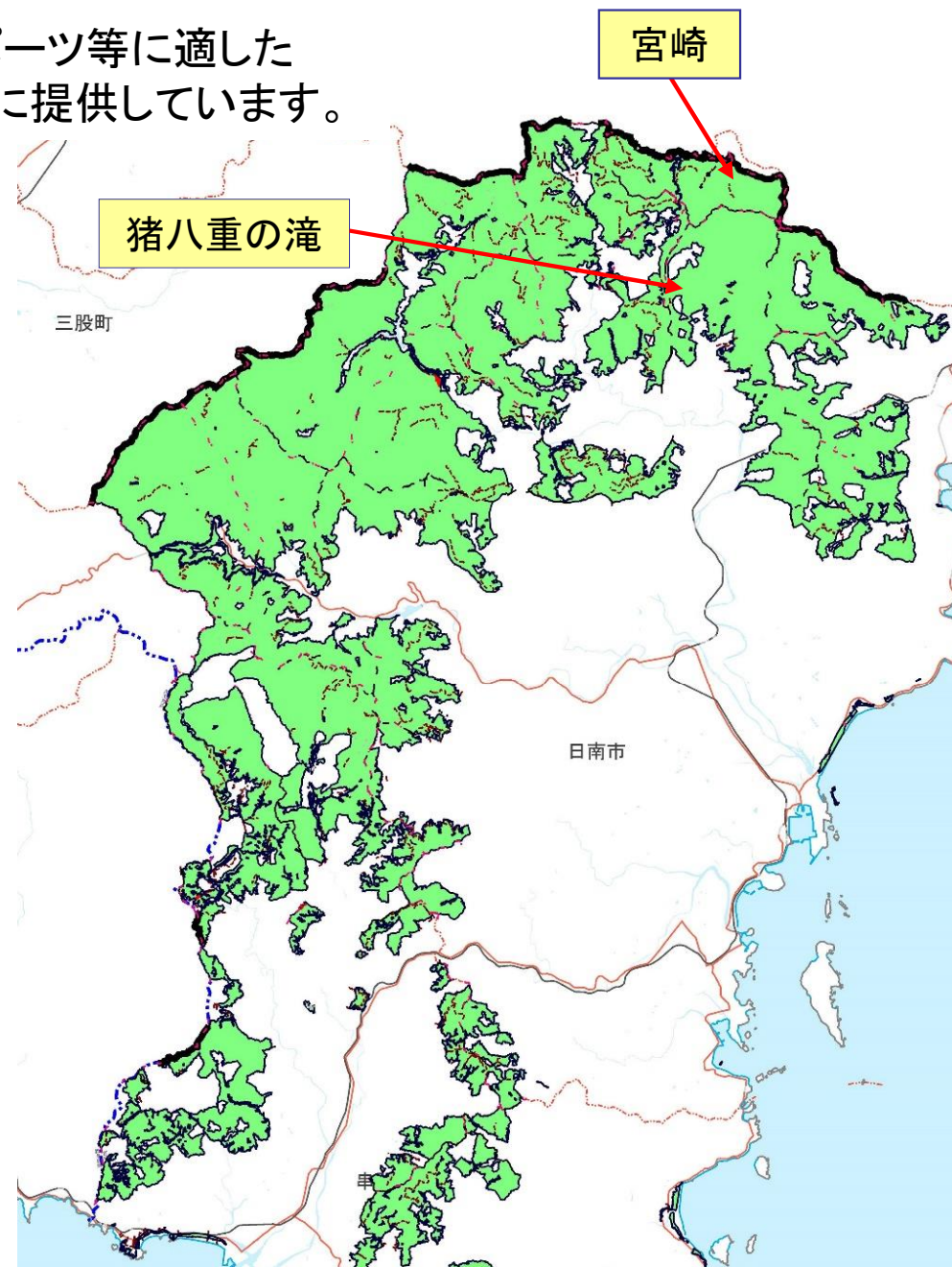
公益的機能の発揮に配慮しつつ、安定的に木材等の生産を行っています。

(4) 国有林野の活用に関する事項

レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

種類	名称	概要	面積(ha)
自然休養林	宮崎	宮崎市加江田川上流に位置し、渓谷美と森林美に恵まれた地域で、奇岩絶壁からなる双石山を配し、ハイキング、ピクニック、自然探勝などに利用されています。	14.18
風景林	猪八重の滝	常緑広葉樹のカシ、シイ類、タブノキ等を主とした天然林に包まれた地域。滝群と砂岩からなる優れた渓谷美を有し、ハイキングや滝群の探勝、及び避暑の場として利用されています。	71.80



渓谷を流れる清流と天然広葉樹林の林相

(5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

森林教室、体験活動などの森林環境教育の場を提供する「遊々の森」や、ボランティア団体などによる森林づくり活動のフィールドを提供する「ふれあいの森」などを設定しています。

遊々の森(学習の森)



継続的な林業体験活動の場を「遊々の森」として提供し、森林環境教育の推進に努めています。

ふれあいの森(快気祝いの森)

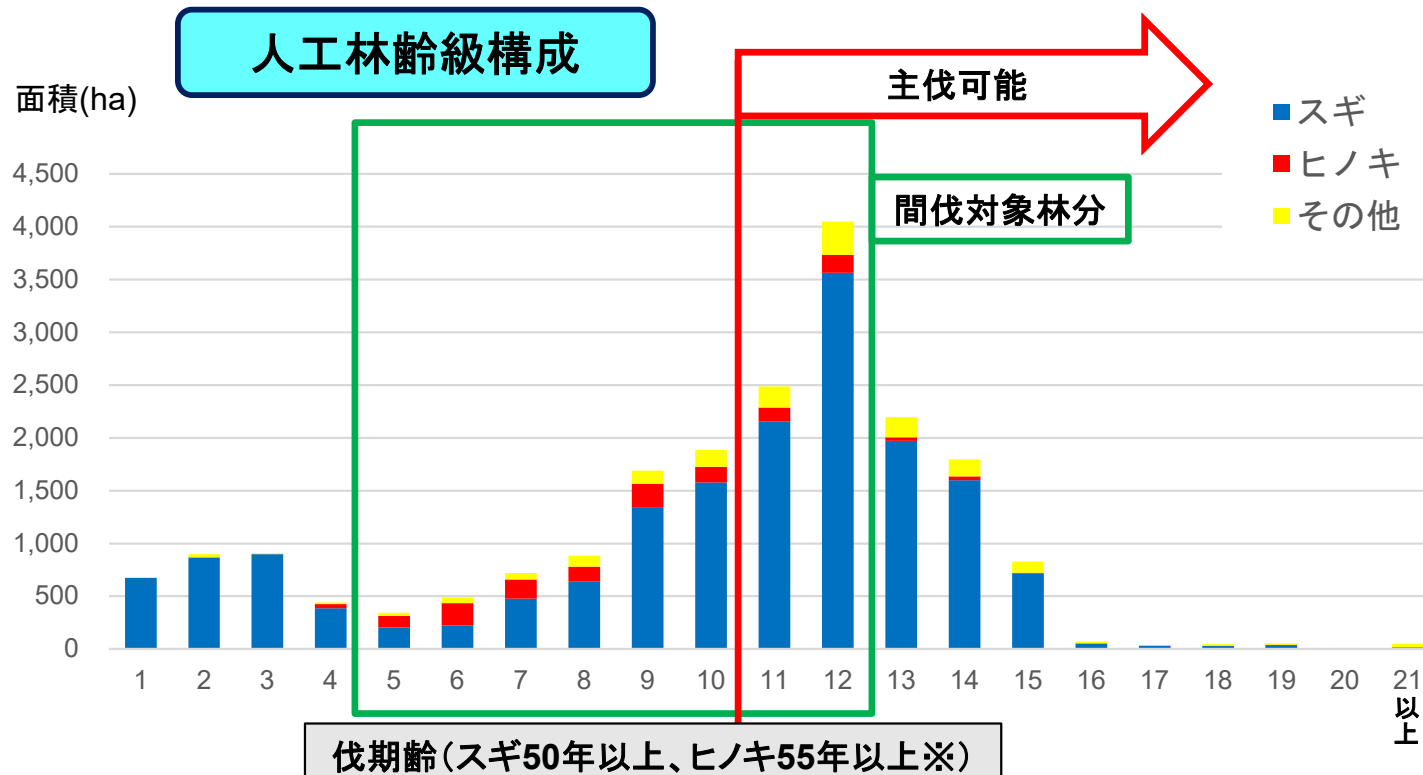


山づくりやレクリエーションを行うフィールドを提供し、国民の自主的な参加による森林整備活動を推進しています。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- 本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高め、ていく必要があります。
- 次期計画においても間伐対象となる20年生から60年生の人工林の割合は74%であり、健全な森林づくりにより、引き続き間伐を推進する必要があります。また、伐期を迎えた林分が多くなることから、将来的に均衡がとれた年齢構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、間伐・主伐の実施により森林吸収源対策や国産材の安定供給に貢献する必要があります。



※スギ・ヒノキ普通伐期施業群を例示。伐期齢は施業群によって異なります。

- 本計画区には各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- 「新しい林業」の実現に向け、素材生産の効率化による生産性向上と低コスト造林を進める必要があります。
- 健全な森林を整備していくため、間伐等の適切な実施と伐採後の更新による森林整備とともに公益的機能の発揮と両立した木材生産や国産材の安定供給を行う必要があります。
- 木質バイオマスエネルギーの原料として利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- 近年は、シカの生息が確認されており、地域と連携したシカ被害対策を推進する必要があります。
- 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

(2) 計画内容

- 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- 貴重な植物種の保護を目的とする保護林や、自然観察などの利用を目的とするレクリエーションの森については現状を維持する方向です。
- 「新しい林業」の実現に向け、素材生産の効率化による生産性向上と低コスト造林を推進する方向です。
- 社会貢献活動として、森林づくりに自ら参加・協力したいという企業等の要請等に応えるため、分収林制度の活用による森林整備を推進する方向です。
- これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。
- シカによる森林被害について、地域と連携した防除対策を推進する方向です。
- 効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、自治体・地域住民の要望等を踏まえて災害対策を進める方向です。